

2025年9月24日
株式会社ゼンリンデータコム

EV・PHEV データ管理システム e-mobilog が、双日株式会社が提供する「EV オートチャージ」と連携
商用 EV 車両の充電最適化をサポートし 電力料金の抑制を実現

株式会社ゼンリンデータコム（所在地：東京都港区、代表取締役社長：清水 辰彦）と株式会社 AMANE が共同開発し提供している EV・PHEV データ管理システム e-mobilog（イーモビログ）が、双日株式会社が提供するエネルギー管理システム「EV オートチャージ」と連携しました。e-mobilog の API から送信される SOC（バッテリー残容量）を「EV オートチャージ」に取り込むことで、フリートマネジメントとエネルギー管理の両立に寄与します。

環境省は「2050 年カーボンニュートラル実現」に向け、2035 年までに新車販売の電動車比率 100%を掲げています。EV 普及は急速に拡大し、特に運輸業界や自治体、オフィス・工場では複数台の EV 導入が進んでいますが、その一方で、車両管理と電力管理を両立する高度な運用が求められています。

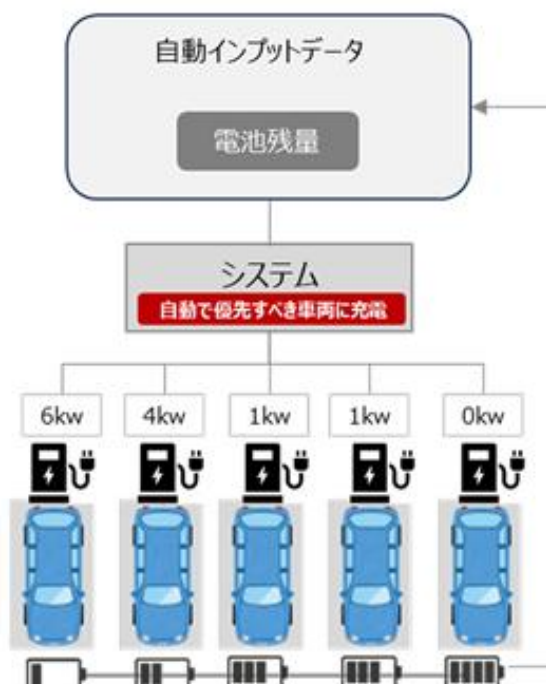
本サービスは、拠点や施設の電力消費量と EV の SOC データを同時にモニタリングし※、一斉充電による契約電力の高騰を回避。さらにバッテリー残量が少ない車両を自動的に優先することで、複数台の EV を効率的に充電します。これにより、電気代の高騰を抑制するとともに、複雑な充電スケジュール作成・設定作業が不要になります。また、効率的な充電マネジメントにより最小限の充電インフラでの運用が可能となり、EV 導入のハードルとなるイニシャルコストを削減し、企業の EV シフト促進に貢献いたします。

※ 拠点の電力需要の常時モニタリングと複数の自動車メーカーの EV を SOC データを用いて普通充電で自動制御するサービスは、業界初

SOC方式

SOC 方式は充電残量が少ない車から優先的に充電するため、（充電が少ない車両が優先される方式）限られた時間で効率的にかつ、すべての車両が稼働できる状態で朝を迎えられることができます。

電池残量データを元に自動で優先充電



■ゼンリンデータコムが株式会社 AMANE と共同開発した「e-mobilog」

- EV 車両から SOC（バッテリー残容量）、位置情報、走行距離などのデータをリアルタイムに収集
- 集積されたデータを可視化し、最適な運行計画策定を支援

■双日株式会社が提供する「EV オートチャージ」

双日と双日テックイノベーションは、商用 EV・PHEV 向けクラウド型充電制御システム「EV オートチャージ」を 2023 年に提供開始しました。EV オートチャージは、EV の SOC データと独自の特許技術を活用することで、多台数になると複雑になる充電マネジメントをシンプルな運用で実現し、電気コストの抑制と EV ならではの業務の省力化に寄与いたします。また、脱炭素の進行状況をダッシュボードで一元管理することで、導入企業における EV 運用の最適化と脱炭素効果を支援するシステムサービスです。

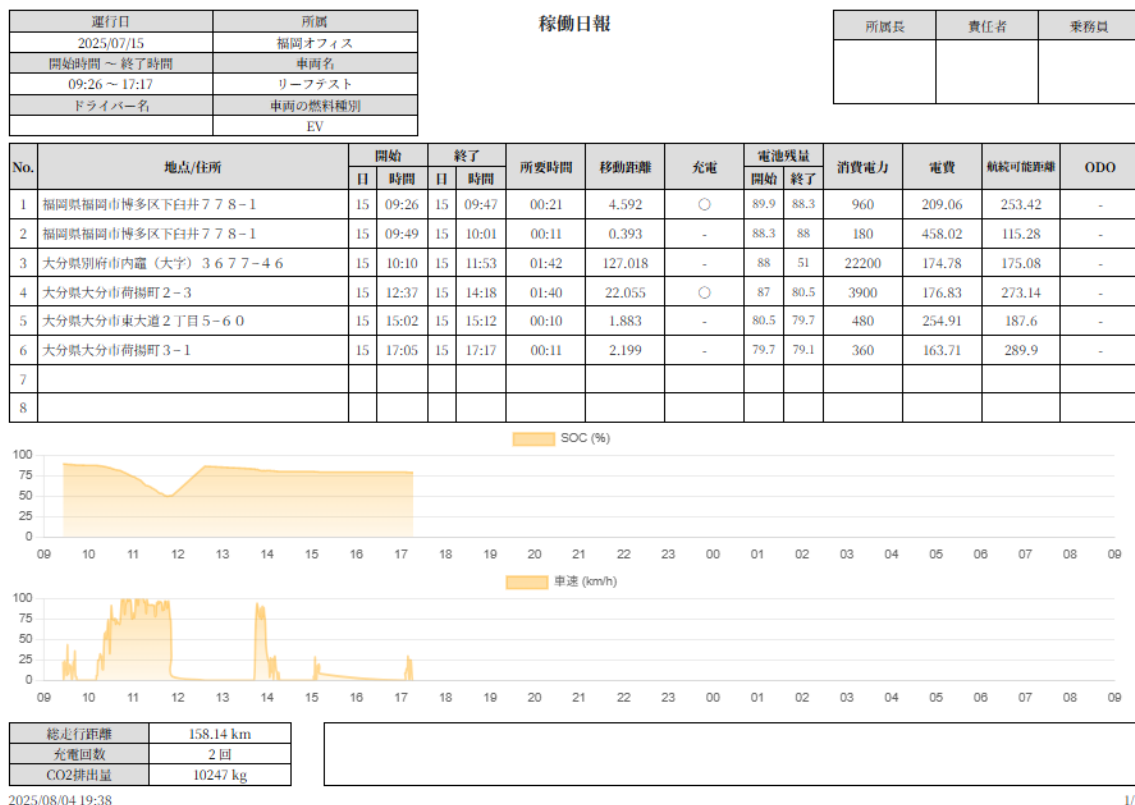
さらにこの度、「e-mobilog」に日報機能を追加しました。

従来のエンジン ON/OFF（EV は PowerON/OFF）時刻や位置情報の把握に加え、EV に特化した以下のデータも可視化が可能になりました。

- 充電回数（推定）
- CO₂排出量（推定）

今後は月報機能の搭載を計画しており、EV シフト後のデータ可視化をさらに充実させてまいります。

■日報イメージ



会社概要

会 社 名 : 株式会社ゼンリンデータコム (<https://www.zenrin-datacom.net/>)
本 社 : 東京都港区芝浦 3-1-1 msb Tamachi 田町ステーションタワーN 22 階
代 表 者 : 代表取締役社長 清水 辰彦
設 立 : 2000 年 4 月 13 日
資 本 金 : 2,283,010 千円
事業内容 : ☐ITS 事業 高精度な地図データを活用したテレマティクス事業
☐ネットサービス事業 地図をベースとした法人向け付加価値情報サービス
☐コンシューマー向け事業 「ゼンリン地図ナビ」「いつも NAVI」「GODOOR」を
はじめとする地図・ナビゲーションサービス
☐未来先進事業 リアルタイムセンシング技術による高精度地図・3 次元地図
従業員数 : 425 名 (2025 年 4 月 1 日現在)